

計算書類に対する注記(第9年度)

1 重要な会計方針

- (1) 貯蔵品の評価基準及び評価方法について
先入先出法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
有形固定資産は、定額法による減価償却を実施している。
無形固定資産は、定額法による減価償却を実施している。
- (3) 退職給与引当金の計上基準について
期末要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 貸倒引当金の計上基準について
未収金の回収不能に備えるため、個別に見積もった回収不能見込額を計上している。
- (5) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、仮払金、立替金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めている。

2 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	30,000,000	—	—	30,000,000
合計(基本金)	30,000,000	—	—	30,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	53,764,818,732	25,267,026,850
未収金	10,151,305,404	1,544,848,548
前払金	426,200,316	4,690,513
仮払金	704,562,847	11,107,620
立替金	288,862,300	23,141,245
合 計	65,335,749,599	26,850,814,776
未払金	59,849,298,522	4,142,300,456
前受金	210,417,210	—
預り金	137,830,064	11,739,993
仮受金	7,810,599	—
合 計	60,205,356,395	4,154,040,449
次期繰越収支差額	5,130,393,204	22,696,774,327

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,053,013,125	1,406,839,134	646,173,991
構 築 物	719,298,963	492,323,211	226,975,752
機 械 装 置	1,019,795,361	739,207,158	280,588,203
車 両 運 搬 具	576,655,105	325,398,231	251,256,874
什 器 備 品	68,384,696	51,259,752	17,124,944
商 標 権	9,975,000	8,653,534	1,321,466
ソフトウエア	727,278,300	498,940,949	228,337,351
合 計	5,174,400,550	3,522,621,969	1,651,778,581